



大戸小マスコットすぎっぴー
大戸小だより

URL:<http://oto-e.saitama-city.ed.jp/>

開校149年 学校教育目標 ○かしこく ○やさしく ○たくましく



令和3年11月30日
学校だより12月号
さいたま市立大戸小学校
831-3796
明治6年開校

「12月は大戸小SDGs～みんなで考えよう地球の未来～」

校長 長島 クミ子

季節は秋から冬へと変わり始めました。秋は、勉強の秋、運動の秋、文化の秋、芸術の秋、食欲の秋と何をするのにもしやすい季節でした。校内でも校外学習、合同体育会、音楽会の練習、地場産物強化ウィーク（給食）、あいさつ運動等を行いました。これらの活動をとおして少しずつみなさんが成長していく様子を感じることができました。代表委員会企画のあいさつ運動では、日に日に人が増え、積極的に活動する様子を見ることができました。これから寒くなりますが、「早寝・早起き・朝ごはん」で生活リズムをととのえ「手洗い・うがい・手指消毒」をしっかりと行いながら、みなさんで「笑顔あふれる大戸小」をこれからもつくっていきましょう。

11月19日、5年生はさいたま市環境フォーラムのオンライン特別授業「おしえてさかなクン！お魚と環境のおはなし」に参加しました。さかなクンが先生です。さいたま市立小学校15校の5、6年生1900人が参加しました。質問の1つに「マイクロプラスチックは深海にどれくらいあるのですか」さかなクンはすぐにスタッフの人と調べ、回答をしてくれました。さかなクンも「ギョギョギョ」とおどろくほどの量が海の底にあることがわかりました。マイクロプラスチックはペットボトルやビニール袋などまちから出るごみが川や海で流れている間に小さくなり、最後深海にたどり着くのです。このマイクロプラスチックを魚がえさとまちがえて食べてしまい、魚たちのくらしがあぶなくなっています。その魚を私たちが食べていることを考えるとこれはとても問題ですね。2030年までの達成目標17項目あるSDGsの「14 海の豊かさを守ろう」とあります。地球の未来を守るためにも今から私たちが行動をしていくことが大切です。そこで、みなさんへのミッションです。12月は大戸小SDGs強化月間とし、地球の未来について考え、17項目の中から行動してみたことを報告してください。

最後にこの季節に思い出す絵本を紹介합니다。「葉っぱのフレディ」～いのちの旅～（レオ・バスカーリア作、みらいなな訳）です。春から冬までの様子をとおして生きるとは何か、死とは何かを考えさせられる絵本です。本の中には「ひとつとして同じ葉っぱはない」「“いのち”は永遠に生きている」とあります。多様性の社会の中でどう自分らしく生きていくかSDGsにもつながる考え方です。大戸小“本の森”で探してみてください。